

# 道央家族会報 20 号

ホームページ URL

<https://dokaren.com/do-o.html>



## \* 事業所めぐり「そだてらす」 恵庭光風家族会

6 月 9 日(金)に家族会役員で「そだてらす」に取材&見学に行ってきました。



ここでは、レタスやサンチュなどの葉物野菜を水耕栽培で作っています。

収穫した野菜は市内の飲食店やスーパーに出荷しているとのことでした。

現在、20代から60代の9名が働いており、毎朝現場のホワイトボードで自分の担当の作業を確認し、各々が分業で作業を行っているとのことでした。

見学に伺った際は、種まきや、出荷前の野菜のカット作業を見ることができました。

皆さん、やりがいをもって作業に取り組んでいる様子を見ることができました。



水耕栽培は室内で行えるため、冬場でも作業ができることも良い点とのことでした。

今後このような作業場が増え、多くの利用者が働くことができれば良いと思います。

\* ハローENJOY 施設長 内田 貴士

北海道でも暑さが続く中、利用者は水分をこまめに摂りながら日中の仕事に励んでおります。

5月13日(土)に、「EN遊会」を開催しました。例年なら外でジンギスカンを皆で食べる予定でしたが、コロナが5類に移行したばかりということもあって屋内で会食を行いました。

久しぶりに家族を呼んでの開催に、利用者、職員も喜んでおりました。



豪華なお弁当に舌鼓を打ち、抽選会では様々な景品をゲットして大変喜んでいました。

イベントの後、家族と職員の懇談会を開き、現在の利用者の仕事について等を説明し、家族からの意見や質問をいただきました。

家族と会えない日が続いていたので、職員との懇談会は、とても実りのあるものになりました。

7月10日に、「みんなでENJOY! 夏だ! 海だ! 小樽だ! ハローENJOY バスツアー」と題し、日帰りのバスツアーを開催し、家族と利用者、職員の総勢60名がバス2台に乗り込み、夏の小樽へ行ってきました。運河を散策し、買い物を行い、昼食は海鮮丼と、生ものが苦手な方は天丼と、選択できるようにしました。お腹も満たされ、いざ、おたる水族館へ。



イルカやオタリア、アザラシ、ペンギン、トドのショーを観覧し、小樽を満喫しました。

散策や水族館内での移動は利用者・家族の高齢もあり少し大変な部分がありましたが、利用者の笑顔を見ることで大変さも軽減される思いでした。

今後も家族とのイベントを随時開催していく予定です。近々では「ハローまつり」を9月に予定しております。利用者の日々の仕事の疲れを癒し、また、仕事への活力が湧いてくるような、そして、家族との楽しいひと時を過ごせるイベントを企画してまいりますので、お楽しみに。



## \* 北ひろしま福祉会 共栄 「長寿を祝う会」

共栄では利用者の高齢化が進んでおり、平均年齢が 57 歳となっています。これまではコロナによる影響などで、還暦をこえる方々をお祝いする機会までは設けることができていませんでした。

しかし、人生の節目である、還暦の 60 歳以上となる利用者をお祝いし、お祝いされる喜びを感じていただければと考え、5 月 27 日(土)に「長寿を祝う会」を開催しました。対象者の家族もお招きしました。



対象者一人ひとりに感謝状を贈呈しました。お祝いの言葉を受けて、とても嬉しそうでした。

式典会場やパート内でライブ映像を流しましたが、それを見ている対象者以外の方も拍手をしたり、涙を流したりする方もおられました。

式典後には出席された家族と懇親会を行いました。看取り援助推進室の小林室長と共栄高齢期ケアプロジェクトで「看取り援助は施設の職員だけではなく、家族と一緒に進むもの」と説明され、参加された家族の方も聞きながら熱心に聞いておられました。

また、安心ノート(意向確認書)は、共栄が以前エンディングノートとして作成したものを改訂した内容に生まれ変わりました。健康面に関する意向確認、看取り援助に関する意向確認、亡くなった後の希望、連絡先などを加えました。この安心ノート(意向確認書)の目的は、医療の対応(延命治療を行うか否かなど)についての意向確認と、利用者が生き残るための今後の生活を家族にイメージしてもらうためです。

今までは亡くなる時をイメージすることは忌避されてきましたが、利用者が最期まで生き残ることを家族と一緒に考えていくことが大事だからです。

その後、参加された家族と担当職員とで、不安なことや心配なことなどを一緒になって考える時間を設けました。亡くなった後、どうすべきか悩んでいる家族もおられましたが、職員と話し合うことで少し安堵した様子がうかがえました。家族が話しやすい雰囲気の中で懇親会を行うことができたと思います。

障がい分野での看取り援助・介護は、まだまだ課題が沢山あります。

小林室長や看取り援助推進委員会の力を借りながら一步一步進めながら、利用者が生き残るための支援をしていきます。

10 月にも、今回の対象月ではなかった 60 歳以上の方のお祝いを行う予定です。

## \* 北ひろしま福社会 とみがおか

コロナ感染症が5類に移行したこともあり、利用者の日常生活における潤いを以前のようにしたいと、いろいろな行事や利用者が楽しめる企画を考えています。

その中で昨年からはじめてはいましたが、今年も小グループ単位で旅行に行きはじめました。近郊の定山溪温泉やコテージを借りて、ゆっくりと温泉や料理を楽しんだりしています。

また、8月7日(月)の北海道の七夕の日に合わせて、道家連が紹介している「のどごしがよく、コシが強い」と好評の「手延べそうめん」を利用者みんなで楽しみたいと思っています。



## \*\* 編集後記 \*\*

高齢化で役員の担い手がないことが家族会の深刻な問題です。

どうしても、施設にお世話になることが増えつつあります。

道央家族会報も、それぞれの施設長に投稿していただいたりしています。

新型コロナウイルスが5類に移行して、巷ではマスクを外すことが多くなりました。

その一方で、風邪に似た症状が流行っていることを耳にします。

集団生活の難しいところ、命がけて支援していただいている職員の方々には感謝しかありません。

感染予防は、夏風邪の予防法も、新型コロナウイルスの予防法と変わらないようです。

いずれのウイルスも、せきやくしゃみ、大声などによる飛沫感染や、ウイルスにふれた手指などで口や目をさわる接触感染によって広がります。

「手洗い&うがい」は欠かせませんね。